

会 議 録

会議名	平成 24 年度第 9 回小金井市学童保育所運営協議会	
事務局 (担当課)	児童青少年課	
開催日時	平成 25 年 3 月 21 日(木) 19 時 10 分～20 時 45 分	
開催場所	801 会議室	
出席者	委員	高橋委員長、中山(岳)副委員長、水谷委員、齋藤委員、曾我委員、入月委員、山倉委員、鴨下委員、深澤委員、小澤委員、仙澤委員、中山(恵)委員、鈴木委員
	事務局	越学童保育係長
会議次第	1 開会 2 議題 (1) 小金井市学童保育所運営について (2) その他 3 閉会	
配布資料	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小金井市学童保育所運営協議会会議録(案)</li> <li>・学童保育所の障がい児入所状況調べ</li> <li>・2013 年度予算編成にあたっての要望について</li> <li>・小金井市児童発達支援センター事業詳細計画</li> <li>・「さくらシート」、「さくらシート記入例」</li> </ul>	
会議結果	1 会議録の確認 <ul style="list-style-type: none"> <li>・第 8 回会議録について、これで確定としたいがどうか。(市)</li> <li>・良い。(学)</li> </ul> 2 議題 (1) 障がい児入所状況について <ul style="list-style-type: none"> <li>・資料は、平成 2 5 年第 1 回市議会定例会の資料として作成した各市の障がい児の受入れ状況を一覧にまとめたものである。障がい児の受入れについては課題もあるが、市としては定数を拡充していく必要があると捉えている。今後、障がい児の受入れを検討するにあたり何かご意見はないか。(市)</li> <li>・健常児何人に対して障がい児何人入所している、といった割合がないので比較が難しい。(学)</li> <li>・受入れられる児童の障がいの程度も各市異なるのではないか。(学)</li> <li>・小学校に隣接する学童保育所と少し離れたところにある学童保育所など様々な立地条件があると思うが、スクールバスの送迎状況との関連があると良い。(学)</li> </ul>	

- ・いろいろな条件でそれぞれ受け入れていると思う。個別詳細の調査をするとなるとかなり厳しいのではないか。(学)
- ・普通学級に在籍する児童であっても、学童保育所に障がい児として入所している児童もいる。普通学級の場合、隣接する学童保育所なら問題が無いが、学校から少し離れた所にある学童保育所の場合、スクールバスもないので学童保育所まで保護者などが送迎をしなければならない。送迎はかなり負担である。(学)
- ・資料要求の経過は。(学)
- ・各市の障がい児の受入れ状況について要求があった。市としては、障がい児の受入れについては拡充していく必要があると捉えている。(市)
- ・障がい児の放課後の過ごし方として、現在の学童保育所に限らず何か他にあると良いと思う。サービスの拡充もわかるが、全てを学童保育所で受け入れていくとなるとかなり無理があると思う。(学)
- ・引き続き協議していきたいので、調査したい内容があれば他に何かアイデアが欲しい。(市)
- ・平成25年度の障がい児の受け入れについて、全員が第一希望の学童保育所へ入所できたと聞いている。(学)

(2) 平成25年度予算編成にあたっての要望について(市)

①不審者対策について

- ・立地条件が様々であるが、緊急対応マニュアルに定め対応している。

②三期休業中等の保育について

- ・8時半の開所は引き続き実施する。職員の勤務時間に関しては、引き続き内部で協議していく。

③土曜保育について

- ・②と同様、職員の勤務時間に関しては、引き続き内部で協議していく。

④非常食備蓄、防災用品の常備について

- ・避難所ではないので備蓄をする考えではないが、食料品が何もないということが無いよう、おやつを切らすことなくストックすることで対応する。防災用品として、ラジオ付きライト、ランタン、トラメガを配置した。

⑤学童保育所の定期清掃について

- ・学期に1回の定期清掃を要求したが予算措置されなかった。引き続き指導員が清掃することで対応する。

⑥学童保育所における放射能測定について

- ・放射能対応は市全体の方針により対応する。

⑦各学童保育所父母会からの個別要望について

- ・あかね学童保育所:建替えに伴う備品、みどり学童保育所:ファクスを購入。

(3) 発達支援センターについて

・小金井市が発達支援事業をやって行く中で、どういう方向で考えていくのかを「小金井市の発達支援事業に係る基本理念」に掲げ、「(仮称) 小金井市発達支援センターに係る基本的な計画」を策定した。

東小金井駅北口土地区画整理事業に伴い、ピノキオ幼稚園の移転に併せ、発達支援事業の構築を進めてきた。現在、多くの部署で発達支援事業に係る相談事業等の統合・連携を図るため、3部7課で検討を重ね、さらに市民も交え、意見交換会を重ねてきた。いただいた意見を基に、「小金井市児童発達支援センター事業詳細計画」としてまとまったのでご報告をする。

(市)

- ・放課後デイサービスは支給決定を受けないと利用できないのか。(学)
- ・法に基づく施設のため、一定の手続きが必要である。(市)
- ・「さくらシート」は、特別な配慮が必要な方が安心した生活を送れるよう健康や生活の様子を記録し、必要なときに必要な情報を役立てていけるよう作成している。医療機関や保育園・幼稚園、学校など様々な関係機関を利用する際に、保護者や本人が同じ説明を一から何度も説明しなくてはならないという手間を省くため記録し、成育歴や今まで受けてきた支援を関係機関に伝えることで切れ目のない支援を受けられるようにする。シートは、初めから全ての欄に記入する必要はない。(市)
- ・全員を対象に「さくらシート」というものがあると周知しておくのが良いのではないか。健診で経過観察となった保護者にだけ案内するのはいかがなものか。(学)

(4) 学保連より

①税制改正による育成料の影響はどれ程か。

- ・平成24年度と平成25年度の育成料の税制改正による影響を個別に算定することはしないが、育成料の区分ごとの人数・割合を資料として用意したい。(市)

②学童保育に係る事業の予算はどれくらいか。

- ・学童保育に要する経費として、維持管理と運営に関する経費があるが、この他職員人件費を含めて次回までに資料を用意したい。(市)

3 次回日程

- ・平成25年4月22日(月)19時から、801 会議室。